



■ 親綱ロープ

■ 特長

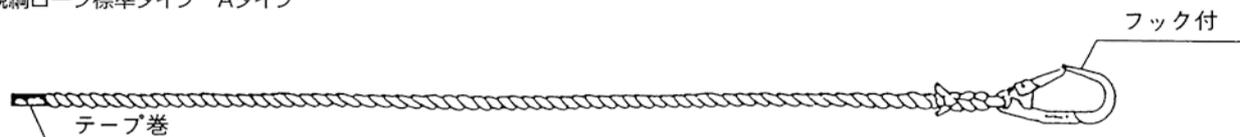
- 硬化しない
繰り返し使用によっても硬くなりません。
- 摩擦に強い
平面にも角にも強く、耐磨耗性がよい。
- 強力が抜群
従来のビニロンロープに比べて約1割から3割強アップ。

■ 親綱ロープ規格

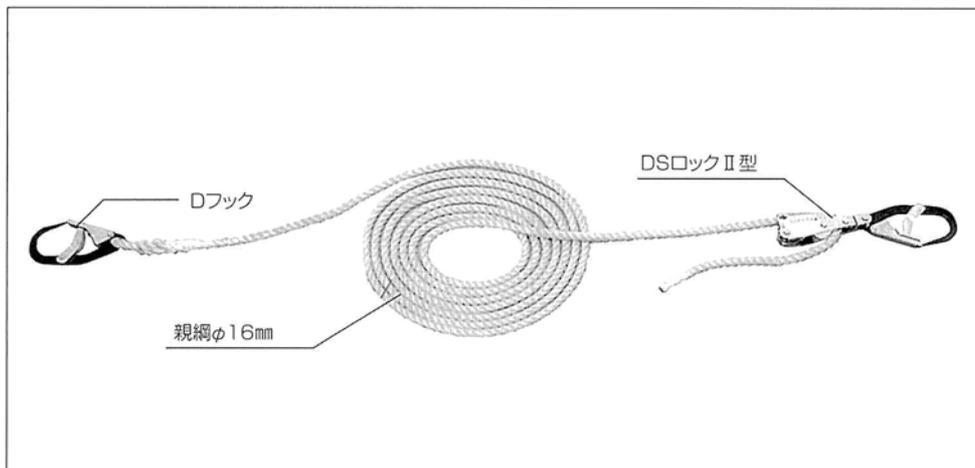
項目	型式	クレモナS・ビニロンEロープ	ニューテトロロープ
ロープ直径 (mm)		16	—
重量 (kg/200m)		33.0	—
強力 (ton)		2.85	3.84

● 長さ：6m・8m・10m・15m・20m・25m

● 親綱ロープ標準タイプ Aタイプ



■ 親綱緊張器DSロックII型



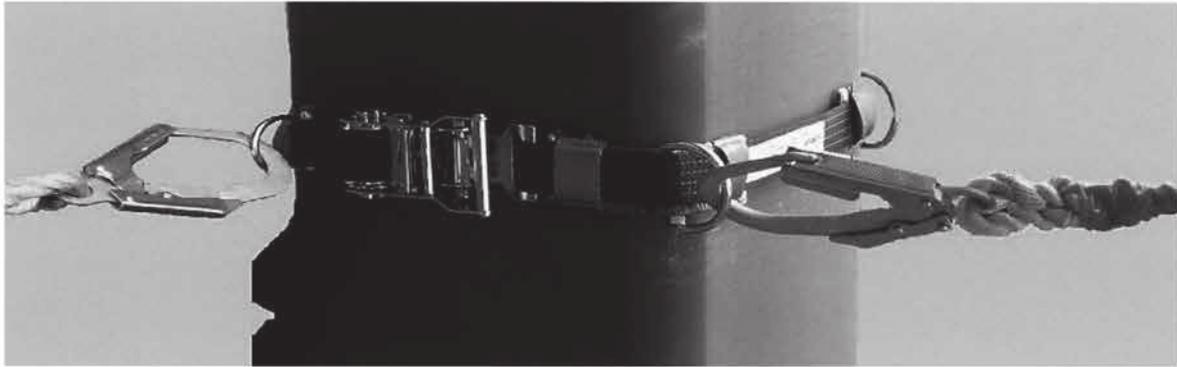
● DSロックII型使用方法

- ① 矢印の方向にロープを入れる
- ② ロープを下へ通す
- ③ ロープを緊張する
- 解除 シのを使って解除して下さい

■ 78 ロリップ



■ 親綱取付ベルト



特長

1. 親綱取付用ピース不要。H鋼・ボックス柱・丸柱を問わず簡単に親綱を敷設できます。
2. 幅35mmの専用本体ベルトは、芯材に超高強力繊維を織り込み4トン以上の破断強度(新品時)を確保。熱にもエッジ切れにも高い耐久性を有しています。
3. D環付コーナーパッドとラチェット金具(緊張器)の裏側には、強力なマグネットが付いているので、ベルトを柱にセッティングして仮締めする作業が簡単に行えます。コーナーパッドは必ず柱の角に当てて下さい。
4. ベルト表面の赤いラインで表裏が見分けやすいので、ねじれたままで取付・緊張してしまうミスを防げます。
5. 周囲の長さが最大で3.5mまでの柱に使える長尺のベルトです。製品重量は1.28kgと軽く、コンパクトで、取り扱いも容易です。

※ 周長1.2~3.5mまでの対象物に使用可

取り付け手順

- 1 柱状構造物の各コーナーに“D環付コーナーパッド”を“ラチェット金具”に接続する。



- 3 “ラチェット金具”の“緊張用レバー”を左右に作動し、ベルトを増し締めして緊張する。このとき、ベルトは“巻き取り軸”に2回以上巻取る。⚠危険



- 2 “本体ベルト”を引張り、柱状構造物サイズに応じてベルト長を調整する。



- 4 “ラチェット金具”の“緊張用レバー”をたたんで、柱状構造物への設置終了。

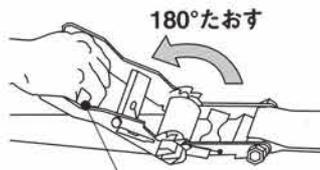


取り外し手順

- 1 “開放レバー”を引きながら“緊張用レバー”を外側へ起こす。



- 2 “緊張用レバー”を180°倒してロックを解除し、“ベルト”の緊張を緩める。



※ “開放レバー”は引いたまま

- 3 “ベルト”が緩んだら、“ラチェット金具”底面のマグネットを構造物から引き離し、“フラットフックを外す”。



ラチェット金具 フラットフック



金具をハンマー等で叩いて無理に取り外さないで下さい。

ご使用上の注意

- 溶接火花に注意して下さい。
- 日常点検
- コーナーパッドは柱の角に当てて下さい。使用前 ラチェットできちんと締め付けが出来ているか確認して下さい。
- 親綱認定基準に従って使用して下さい。● 墜落など、度でも大きな荷重がかかったものは再使用禁止です。新しいものと交換して下さい。
- 1スパン 1名での作業です。スパンは10m以下です。

安全ブロック、親綱ロープ、緊張器、親綱取付ベルト、スタンション、親綱支柱、テッスル